

くろかわ透明水彩画教室 制作の羅針盤 2020年11月作成

【着彩の順序】

- ・遠くから近くへ（風景の場合は空の場合が多い）
- ・鮮やかなものは先に塗っておく（花や紅葉など）
- ・陰影は最後に塗る（陰影を塗る場所＝日蔭・日影＝日向ではない部分）

- ・透明水彩画の着彩の基本＝重ね塗りで描く（ウェット・オン・ドライ）

一旦しっかり乾かした上に、少し濃い濃度の絵具で着彩する。（濃い＝絵の具に対して、水分が少ないこと）

※陰影の色

青系+赤系＝青寄りの紫（鮮やかすぎたら茶系を加える）（濃すぎたら水を加える）コツ：匙加減で調整する

【表現のポイント】

- ・風景画は遠く程・・・淡くボンヤリと（青っぽく）
- ・風景画は近く程・・・濃くクッキリと

※花々の絵の場合、主役はクッキリ。それ以外は主役より目立たぬようにクッキリさせすぎないこと。

【形をとるのが難しい 初心者の方でも描ける方法】

＝モチーフ写真をそのまま描く

- ・モチーフと水彩紙の両方に16等分の補助線を引いて描く。（縦横比率を両方とも同じにしてください）
- ・形を取るときはアウトゾーンの形も参考にする。

※もし、アレンジが可能ならば遠慮なく是非それにチャレンジしてください！

※よくわからないものは、よくわからないように描く。途切れ途切れでもそれっぽく見えることを味わう。

※「細かくて沢山のモチーフ」 葉々、木々、草々、花々、家々、岩々etc. はそのまま描くのは大変。何らか自分なりに省略をして描かなければならないので難しいです。描けなくても凹まないで気持ちを長く持ち楽しみながら試行錯誤してください。

【趣味で楽しむための絵画の基本】

- ・自分がモチベーションを感じるモチーフを描くこと。
- ・「上手い絵」を描こうとしないこと。
- ・気持ちを長く持ち、楽しみながら、試行錯誤をすること。

くろかわ透明水彩画教室 制作の羅針盤 2020年11月作成

～絵を描く前に考える10のポイント（主に風景画）～

- 1 構図は？（主役の位置「日の丸」「1/3」L字でトリミング 検討）
- 2 パースは？（目線は？真正面？一点透視？二点透視？）
- 3 遠近感は？（近景・中景・遠景の描き分け）
- 4 陽射しは？（日向と日陰・日影：順光・斜光・逆光）
- 5 明暗は？（「トーンスケッチ」明・中・暗、一番広いのは？）
- 6 季節と時間、天候は？（春夏秋冬・晴曇雨雪・朝昼夕夜）
- 7 雰囲気は？（人々の様子「家族・友人・恋人」、賑やか・^{のどか}長閑）
- 8 そもそも何に魅力を感じたのか？（主役や主題）
- 9 色は？（現実的？非現実的？モノトーン？）
- 10 その他（バックどうする？・白の表現どうする？・手順どうする？）